

お話の学習指導案

教育目標

題名 ・ タングンのお話

年齢 ・ 児童(6~9歳)

主題 ・ 目標: やりたいことをかなえるためにどりよくするところをならう。
・ 主題: にんたい

キーワード ・ ファヌン、けんこくしんわ（建国神話）、タングン、ウンニョ、トラ、クマ、こちょうせん、かいてんせつ（ケチョンジョル）

韓国文化 ・ 目標: だいかんみんこく（大韓民国）のさいしょの国家であるこちょうせんを建（た）てたタングンのたんじょうに関するお話をたのしくきく。
・ 要素: タングン、こちょうせん

韓国語

- ・ 目標: お話にきょうみをもってきいて、とうじょうじんぶつのねがいはなしてみる。
- ・ 単語: 환웅 (ファヌン)、웅녀 (ウンニョ)、곰 (クマ)、호랑이 (トラ)
- ・ 表現:
환웅은 사람들을 도와주고 싶었어요.
(ファヌンは人びとをたすけたかったです。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、タイトル、さっさと出てこい！
"タングンのお話"です。
みなさん、韓国(かんこく)のなまえをしっていますか？韓国(かんこく)の今のなまえはだいかんみんこく(大韓民国)です。だけど、むかしはほかのなまえがあったことをしっていますか？韓国(かんこく)の土地にはじめてたてられた国の名前は"こちょうせん"です。こちょうせんはタングンおじいさんが建(た)てた国です。このタングンおじいさんについてとくべつなお話がつたえられていますね。どんなお話か、おばあちゃんといっしょにきいてみましょう。



お話の始まりの歌を歌う

"タングンのお話"の中へしゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

とてもはるかにとおい、とおいむかしのお話です。天のせかいでは王さまがすんでいました。王さまにはファヌンというむすこがいました。ファヌンはとてもかしこくて、こうきしんがおおかったのです。ファヌンはじかんさえあれば、くものすきまからにんげんの世界を見おろしていました。はるなつあきふゆときせつがかわるたびに人びとがちがうようにくらすようすが、とてもきょうみぶかかったようです。

“人びとはほんとうにたのしそうにくらしているんだなあ。天のせかいもいいけれど、にんげんのせかいで人びとといっしょにくらしてみるのがよさそうだなあ、、”

ファヌンのねがいにきづいた王さまが言いました。

“むすこよ、にんげんのせかいにおりて、人びとをたすけてくれないかね？”

ファヌンはとび上がるくらいよろこびました。

“ありがとうございます、おとうさま。かならずそのようにしたいです。”

ファヌンはテベクサンのてっぺんのしんぴてきな木の下におりて来ました。人びとは空からおりてきたファヌンをほんとうにうれしがりました。ファヌンはいっしょにおりてきたかぜの神、雲の神、雨の神といっしょに人びとがのうじをよくできるようにたすけてあげました。人びとはファヌンのおかげでへいわにくらせるようになりました。

ところが、ある日、トラとクマがたずねて来て、ファヌンにおねがいを言いました。

“ファヌンさま、わたしたちは人になりたいです。どうかおたすけください。”

“ファヌンさま、人になれるならば、なんでも言われたようにします！”

口演 活動内容



お話を聞かせる

そうすると、ファヌンはよもぎを1たばと、にんにくを20こをわたして言いました。

“このよもぎとにんにくだけをたべて、100日のあいだたいようのひかりを見なければ、おまえたちは人になることができる。”

“ありがとうございます、ファヌンさま!かならずそうします。”

よもぎとにんにくをもらったクマとトラは、たいようのひかりがいつても入らないまっくらなどうくつの中に入って行きました。どうくつの中はまっくらで、とてもきゅうくつでたいくつでした。その上、よもぎとにんにくはにがくてからくて、食べるのがたいへんでした。なんにちかすぎて、トラが言いました。

“100日もいないといけないなんて、ぼくはがまんできない。そとに出るよ。よもぎもにんにくもたべないよ。”

“人になるためにはたいへんでもがまんしないと。わたしたち、もうすこしどりよくしてみよう。あきらめないで。”

クマがトラをなぐさめました、だめでした。

“うおお、わたしは人にならない。トラとして生きていくよ、うおお!”

トラがどうくつからとびだして行きました。ひとりのこったクマはこわくてさびしかったけど、くちをかみしめて、ぐっところえました。かならず人になりたかったのです。

たいようがいつ出て、入るのかもわからず、すごしたある日、クマにはきみょうなことがおこりました。からだじゅうがいたみだし、大きな口と耳が小さくなり、するどい足つめがまろくなりました。また、からだじゅうをおおっていた

口演 活動内容



お話を聞かせる

ふとくてこいけがうすくなりました。クマが人にへんしんしたのですね。ついにクマのねがいがかかったのです。人にへんしんしたクマはどうくつの外に出ました。

“あ、クマが人になったね。お、女にかわったね。”

人びとはクマをウンニョとよびました。ウンニョはクマが女になったといういみです。

ウンニョはほかの人たちのように子どもをうんで、よくそだてたかったのです。

“私も子どもをうめるようにしてください。”

ウンニョはまいにちしんぴてきな木の下で気もちをこめておねがいして、またおねがいしました。ファヌンは子どもをさずかるためにどりよくするウンニョをだまって見ていました。そして、ついにファヌンはウンニョに言いました。

“ウンニョ、私とけっこんしてくれ。”

ファヌンとウンニョは人びとのしゅくふくをうけて、けっこんしました。それからじいろのひかりがせかいじゅうを、あかるくてらしました。ファヌンとけっこんしたウンニョは10かげつしてけんこうなむすこをうみました。

“この子どものなまえは"タングン"にしよう。タングンもわたしといっしょにせかいを大きくたすけることだろう。”

ファヌンがたいへんよろこんで言いました。

子どものタングンはたくましくそだち、こちょうせんという国をつくり、王になりました。そして人びとを大きくたすけようとどりよくしました。そのあと、タングンは1000年をこえてこちょうせんをけんめいにおさめて、ふかい山の中に

口演 活動内容



お話を聞かせる

はいつて山のかみになったとされています。山のかみになったあとにも、じぶんが建(た)てた国であるこちょうせんとたみたちをわすれないで、ずっとみまもったそうです。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか？

タングンのお話はいろいろなおねがいがありました。おねがいはかなうことをねがうことですね。ファヌンのおねがいはなんでしたか？

そうですね、だいちにおりて人びとをたすけることでした。ファヌンはこどもをほしがったウンニョのおねがいもきいてあげましたよね。ファヌンはウンニョとけっこんして、子どもをうみました。その子どもがまさにタングンおじいさんです。

みなさん、タングンおじいさんはどのようなことをしましたか？

そうですね、こちょうせんを建(た)てて、王さまになりました。かんこくはまいとしこちょうせんが 建(た)てられた日をきねんします。それは10月3日ですね。その日はかいてんせつ(ケチョンジョル)といいます。かいてんせつ(ケチョンジョル)になると、いえいえがテグキをかけておいわいします。かいてんせつ(ケチョンジョル)は空がひらいた日といういみです。タングンおじいさんのおとうさんが空のせかいからおりてきたからですね。タングンおじいさんはおとうさんのようにほかの人たちを大きくたすけようとどりよくしました。このころをホンイクインガンといいますね。タングンおじいさんとこちょうせんにきょうみがあるおともだちは、"どらんどらん お話ホームページ"でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと"タングンのお話"をいちどまとめてみましょうか？
ファヌンをたずねたクマとトラは人になりたかったのです。ふたりはまっくらな
どうくつの中でよもぎとにんにくをたべなければなりませんでした。トラはがま
んできずにあきらめました、クマはあきらめませんでした。こわくてさびしか
ったけど、ながい間どりよくしたクマはさいごにウンニョになりました。みなさ
んもかなえたいことがあれば、クマのようにあきらめずにどりよくしてみてください。
とちゅうでたいへんだったとしても、“わたしはできる。”と言ってみてくだ
さい。さいごまであきらめなければ、かなえたいことがかいますよ！



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあ
いさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！